

編集後記

東京の家人が先日眼の手術を受け、眼科選定療養に関する認識を深めることになりました。何事も勉強ですね。最先端よりやや型落ちの材料が対象のような印象を持ちましたが如何でしょう。先生方のご見識を伺いたいところです。

誌上ギャラリーは花の季節真っ盛りの霧島路ドライブ情景を天辰先生からお寄せいただきました。木々と草花の色彩に心癒やされます。

論説と話題は2題です。まずは岐阜市で開催された第56回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会の報告で、心臓検診検査結果の経年的管理表システムは当地でも検討価値があるというご意見でした。もう1題は令和6年度日本医師会母子保健講習会の概要です。出産から5歳児健康診査まで、産科・小児科・多職種・行政が連携・協力し健康管理を推進していくことの重要性をお伝えいただきました。

医療トピックスは令和6年度第2回鹿児島市特別支援連携協議会の模様です。児と保護者への支援事業の現況が示されました。

学術も2題です。鹿児島医療センターで転移性悪性黒色腫の薬物治療中にみられた眼有害事象3症例の報告です。免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬など複数薬剤での治療は有害事象の原因特定を難しくし、事象発生リスクを高める可能性がある一方で自覚症状に乏しい例もあるようです。皮膚科と眼科の連携も重要です。

もう1題は市内科医会1月例会から、全身性強皮症診療の進歩に関する特別講演が紹介されました。特徴的な所見を早期に発見し診断と治療介入へ繋げる試みの実現が待たれます。

随筆・その他では粟先生の連作「茶道、振り返れば55年」で学生時代の思い出の洋画たち、安保闘争、三島由紀夫の動と千利休の静の対比、利休と豊臣秀吉の関係に見る戦国時代の茶の湯、秀吉の九州征伐と薩摩

の状況、某国大統領の政治手法との類似点…と視点を様々に変えて流れる語り口に圧倒されます。リレー随筆は鹿児島大学病院研修医の田中先生がPC環境構築歴やこだわりを語っていただきました。MacもWindowsも愛用されているとのこと、ゲーミングPC論など、肯けるお話が多く楽しかったです。ご寄稿ありがとうございます。

区・支部だよりは錦江支部会の模様です。各支部の特色の違いが興味深いです。

各種部会だよりの市内科医会1月例会報告は学術欄の特別講演要旨と併せてご一読いただければと思います。ほか婦人部会例会の職場づくりに関する講演、市産婦人科医会研修会のHTLV-1母子感染対策に関する講演、臨床検査センター主催学術講演会「成人におけるワクチン接種 Up to date」についてもご紹介いただきました。

各種報告は第11回理事会概要、各種委員会開催状況です。附属施設だよりは医師会病院と臨床検査センターの診療・利用と収支の実績をお示ししました。会員異動など当会の動きも掲載されています。そのほか、会員対象のサポートセンターやWeb研修、学術講演会等のご案内は「お知らせ」をご覧ください。

鹿市医狂壇のお題は「動悸っ(とためっ)」です。ときめき、との違いにかごんま弁の難しさを感じます。選者の樋口先生からより一層の投句を是非お願いしますとのお話がありました。我と思わん武者の方々、お待ちしております。

…眼科選定療養の話に戻って。手術技術料や検査料を保険算定し、保険適用外の医療材料代を自費で請求するという2階建ての仕組みは、解りやすく納得のゆくものでした。何故かお上に毛嫌いされている自由診療もこういう形でなら、と心の中で思う一患者の家族であります。

(編集委員 關根 さおり)